

# 池袋の交通の あり方を考える

概要版

池袋副都心交通戦略

平成23年9月

豊島区

# 1. 池袋副都心交通戦略とは

## はじめに

池袋副都心周辺では、都市計画道路の整備が進捗しており、その完成により副都心の交通環境は大きく変化することが想定されます。

また、池袋駅西口駅前広場の再整備や豊島区新庁舎の整備に伴う移転先と現庁舎跡地での拠点整備、造幣局周辺まちづくりなどの動きがある中で、豊島区では、池袋が持つ魅力である、多様な価値を容認する「文化」、包容力がもたらす「気安い雰囲気」などを活かして、池袋に暮らし訪れるすべての「ひと」が主役となり、豊かさを感じることができる「まち」の実現を目指しています。

(池袋副都心整備ガイドプラン 平成22年6月)

このような背景を捉え、まちづくりの施策と一体的に歩行者や公共交通を中心とした様々な交通施策を行うことにより発生する交通課題を可能な限り解決する道筋を探り出し、「次の時代を担う交通環境」をどのように整えていくのかについて検討してきました。なお、将来の目指すべき交通環境については、実現に向けて様々な課題があり、関係機関との調整・検討が必要となります。

## 今の池袋は...



まちなかに出にくい！



放置自転車等が邪魔して通行しにくい！



駅から離れると閑散としている！

## 交通戦略とは...

交通戦略は、「人が主役」となるまちづくりを見据えて、自動車に過度に依存しない人と環境にやさしい都市を目標に、それを実現するには何をすればよいのかを考える「目標達成型」として、目標達成までの道筋と交通のあり方を示すものです。

## 交通戦略の目標

駅からまちなかへ人の流れを生み出し、

住む人、訪れる人にとって楽しいまちの実現

池袋駅の自駅乗降客数を増やします！



※ 鉄道間の乗換え客を除く乗降客数のこと

賑わいのある空間などを生み出します！



## 目標達成に向けた4つの基本方針

### 基本方針1

歩行者を優先します

### 基本方針2

主な施設の行き来をやすくします

### 基本方針3

人が集い、賑わいを演出します

### 基本方針4

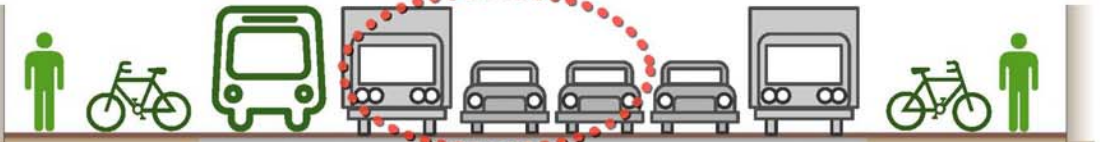
池袋駅の東西を連携します

## 池袋駅周辺の道路の使い方を見直すには今がチャンス！

新庁舎の建設や造幣局の開発（構想）といったまちづくりや、池袋副都心外周に位置する都市計画道路の環状5の1号線・補助81号線などの整備によって、池袋駅前を通過している自動車を池袋副都心の外周に位置する幹線道路へ誘導することにより生み出された空間を、歩行者と公共交通に割りあてたいと、考えています。

## 池袋駅周辺の道路の使い方イメージ

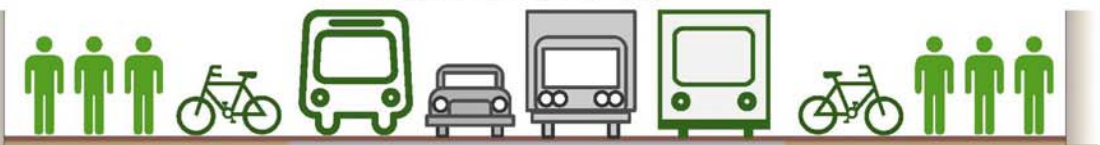
現状のイメージ



駅前を通過している車を幹線道路へ誘導します。

駅前に用事のある車が通行

将来のイメージ



## このチャンスを活かして！

自動車が持つメリットを活かしつつ、人・自動車・公共交通とのバランスをとるための特に重要となる取組みのポイントを示します。

※ 広域的な道路ネットワークを維持することが前提となっています。

ポイント1

駅前の通過交通を周辺道路へ迂回誘導

ポイント2

駅前に目的がある自動車利用の適正化

ポイント3

副都心内の回遊性を高める空間の創出

予測される影響

道路が混雑しないか？

物流等が不便にならないか？

バス・タクシーの運行に支障がないか？

これらの実施により発生する様々な影響への対策をみなさんとともに解決していくことで、目標とする交通環境を実現していきます。



# 3. 将来像を実現するための影響と対策

目標となる交通環境を実現していくうえでは、さまざまな影響が生じる可能性があり、一つの対策を個々に行っているだけでは実現できません。ここでは、目標実現に向けて関係者が連携し、対応していかなければならない主な対策を示しています。

## 荷さばきについて（商業者、物流事業者など）

### 想定される影響



歩行者を優先する道路や駅前の街区等では、荷さばきが制約されますが、これからは道路上で歩行者と荷さばきが競合しないように、歩行者の安全性を確保しつつ、特定の区間や時間帯だけ荷さばきの業務を可能とする等の取組みを行います。

#### 対策例 1：荷さばき車専用スペースの確保



コインパーキング等を活用して荷さばきスペースを確保します。

#### 対策例 2：道路上での荷さばき可能時間帯の設定



特定の時間帯のみ道路上での荷さばきを可能とします。

## 自動車利用について（来街者、住民など）

### 想定される影響



迂回路となる道路では自動車が増加して、渋滞が発生しやすくなりますが、自動車での来街を少しでも控えてもらえるように、公共交通を利用しやすくする等の取組みを行います。

#### 対策例 1：フリンジ駐車場の配置



駅へ来街する自動車を周辺の駐車場へ誘導します。

#### 対策例 2：ノーマイカーデーの推進



マイカーから公共交通への利用転換を推進します。

# 池袋の将来像を実現するため、みなさん一緒に考えていきませんか？

## 駅前広場について（バス、タクシー事業者など）

### 想定される影響



駅前広場は駅利用者や歩行者のための空間を提供することによって、バス・タクシー等の待合スペースの確保は難しくなりますが、バス停等の集約化を行い、利用者にとって利用しやすい環境をつくる等の取組みを行います。

#### 対策例 1：タクシープールの隔地配置



タクシーの待合スペースは、駅前広場以外の場所に確保し、空間の有効利用を図ります。

#### 対策例 2：バス停留所の駅前への集約化



バス停留所を方面別に集約することでわかりやすくなります。

## 自転車利用について（来街者、住民など）

### 想定される影響



駅前広場や歩行者を優先する道路等では自転車の利用が制限されるようになりますが、自転車利用のルール化と併せて、駐輪施設の適切な配置等によって双方の安全性を向上し、自転車の利便性も維持できる等の取組みを行います。

#### 対策例 1：自転車利用のルールの周知



歩行者の安全を確保するため、歩行者を優先する道路等では、自転車利用のルールを定めます。

#### 対策例 2：適切な駐輪施設の配置



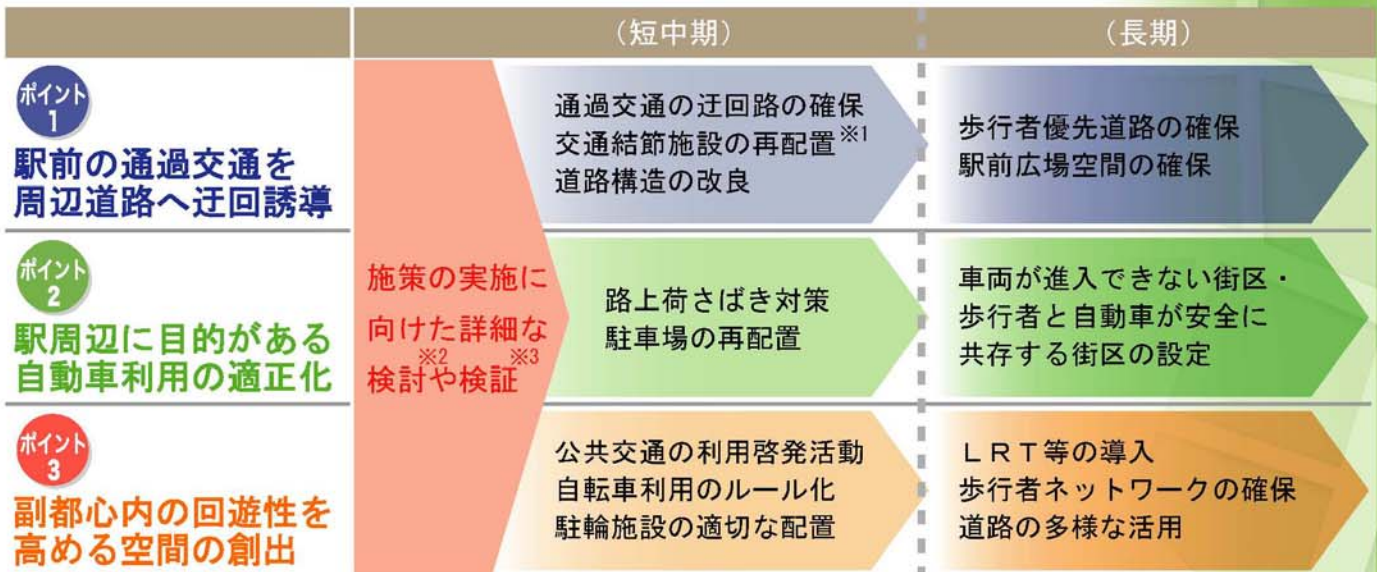
自転車が歩行者を優先する道路を通行しないで済むように、駐輪施設を適切に配置します。

# 今後の進め方について

「池袋の交通のあり方を考える」を踏まえ、目標となる交通環境の実現に向けて、みなさんからのご理解とご協力をいただくとともに、各施策の詳細な検討や検証を行い関係者・関係機関との合意を得ていくことが必要になります。

## 池袋の交通のあり方を考える

目標となる交通環境の実現に向けて



※1 交通結節施設とは、バス停留所、タクシー乗り場などのことです。

※2 歩行者優先道路の確保に向けた検討や、車両が進入できない街区の設定に向けた検討、LRT等の新たな公共交通導入に向けた検討を深度化します。

※3 広域的な道路ネットワークを維持することを前提とし、交通処理の検証を行いながら、必要に応じて道路構造の改良に関する検討の深度化を図ります。

2011年9月 発行

発行：豊島区 都市整備部 都市計画課

住所：〒170-8422 東京都豊島区東池袋1-18-1

電話：03-3981-1111（代表） FAX：03-5950-0803

ホームページ：<http://www.city.toshima.lg.jp/>

池袋副都心交通戦略

検索

※ 池袋副都心交通戦略の詳細については、池袋の交通のあり方を考える〔本編〕をご覧ください。